



「善循環の輪質疑応答エッセンス集」(広報担当 大山)

「善循環の輪 ふくいの集い in 敦賀」から ◎地球温暖化対策について

<質問要約>

地球温暖化が進むと 22 世紀には平均気温が今より 2~3 度上がるといわれていますが、EM でどのような対策ができるのでしょうか。

<比嘉教授からのコメント>

まず温室効果ガスの排出抑制という観点からお答えしますと、EM はメタンガスを減らす効果があります。例えば、牛のゲップには大量のメタンガスが含まれますが、EM を飲ませるとメタンがほとんど含まれないゲップになります。また、水田からも大量のメタンガスが発生していますが、EM を活用すればほとんど発生しません。

二酸化炭素については、植物の光合成という観点からすると生物生産の大きな資源という見方もできます。

EM 栽培をして化学肥料や農薬を減らすことができれば、石油資源の消費を減らしたのですから、炭酸ガスの排出抑制を行ったこととなります。同時に収量が増えれば、炭酸ガスを余計に回収したことにもなります。連作や二毛作をして生産力を向上させることも大きな手だてとなります。

要するに、排出を抑える努力も必要ですが、炭酸ガスを資源として回収する方法を考えていく方が、より積極的な対処法といえ、これを実行するには一次産業に徹するほかありません。

また土壌に EM を施用していくと、次第に光合成を行う微生物が増えるので、土壌生物が炭酸ガスを回収する状態になります。河川や海の浄化も同じで、EM を投入すると水生植物が増え、ここでも炭酸ガスの回収能力が向上します。



4 月 8 日(日)、春の日本橋まつりが行われ、恒例となった EM 団子の投入も実施されました(日本橋に 3500 個、江戸橋に 500 個)。

投入に当たっては、取手市の NPO 緑の会様、戸田市の NPO 戸田 EM ピープルネット様のご協力いただきました。ありがとうございます。

また、名橋日本橋保存会と Unet で回復を求めてきた桜も満開で、ちょうど見ごろになっていました。

EM 使用前は、カイガラムシなどが多くみられましたが、すっかり害虫もいなくなり樹勢が回復しています。

◇◇◇◇◇ お知らせ ◇◇◇◇◇

EM による放射能対策を取り上げた書籍が出版されました。

船瀬俊介著、「放射能汚染だまされてはいけない」、徳間書店、1,575 円、お求めは一般書店で。

◇◇◇◇◇ ご案内 ◇◇◇◇◇

1. Unet 提供ラジオ番組「内海利勝 LOVE & PEACE 同じ空の下から」
以前にも紹介しました同番組ですが、「EM がつなぐ環境浄化」のコーナーを、ナチュラルフーズショップしんせん様の WEB ページ聴くことができます。<http://www.shinsen-web.com/radio/>。
また、YouTube でスタジオ収録の様子を見ることもできます。
2. 比嘉照夫教授特別講演会 in 旭
4 月 28 日(土) 14 時 00 分~17 時 00 分、千葉県東総文化会館・小ホール、入場無料・事前登録制(定員 300 名)。お問い合わせは Unet 事務局まで。